

第 55 回 百周年記念史誌部会議事録

日時: 2010年11月30日(火)16時00分～17時00分

場所: 事務棟 第一応接室

出席者: 横山孝男部会長、栗野宏、松田則男、小山明夫、神戸士郎、大町竜哉、奥山澄雄、高畑保之、新関久一、小池邦博、綿貫藤雄、片山政弘、三角太郎、山崎洋一郎各委員、小関栄助氏、小室秀一編纂室員、斎藤ひろみ編纂室補助員

欠席者: なし

【配布資料】

[資料 55-1] 第二板谷峠トンネル立て坑遺構 ～米沢の近代化の語り部～ 栗野宏 [A4/1 頁]

[資料 55-2] 百年史(ヒストリー)の構成と日程 [A3/1 頁]

[資料 55-3] 機械システム工学科部局史 [A4/4 頁]

[資料 55-4] 米澤高等工業学校初代校長大竹多氣について [A4/18 頁]

[資料 55-5] 校閲に関するチェック項目 [A4/1 頁]

[資料 55-6] 大竹多氣展 パネル一覧 [A4/4 頁]

I) 報告&連絡事項

1. 斎藤ひろみ編纂室補助員からホームページの更新に関する報告があった。
 - (1) 10月29日に今月の話題(江副隆愛/2010年11月号)を公開した。
 - (2) 11月1日に写真アーカイブス/創立50周年記念式典他を公開した。
 - (3) 11月5日に写真アーカイブス/米澤高等工業学校開校25年略誌を更新した。

II) 協議事項

1. 百年史

- ① 今月の話題
 - 1). 資料 55-1 に基づき、栗野委員から「第二板谷峠トンネル立て坑遺構 ～米沢の近代化の語り部～」について説明があった。
- ② 百年史の構成と日程(査読計画・印刷検討)
 - 1). 栗野ヒストリー班長から、資料 55-2 に基づき説明があった。
 - 2). 印刷・製本業者の選定にあたり百年史の体裁について以下のように想定した。A5 版、クロス貼りの上製とし、可能ならば箱に入れる。約 550 頁になる予定である。
 - 3). 横山部会長による巻頭総括論文は省く方向で検討したい旨、提案があった。その代わりに巻頭に学長 and/or 工学部長の挨拶文を掲載するよう提案があった。
 - 4). 小関委員ならびに渡辺教員の原稿は既に提出されている旨、報告された。
 - 5). 印刷・製本業者の選定にあたり大学事務部の担当部署との折衝が必要になる。
 - 6). 査読は既に提出された原稿から進めていき、各部会員に割り振り分担して頂く。査読期間は一ヶ月ほどを想定する。査読にあたり資料 55-5 「校閲に関するチェック項目」をベースとして始める。
- ③ 機械システム工学科部局史
 - 1). 大町委員から資料 55-3 に基づき説明があった。
 - 2). 機械システム工学科部局史は全 5 章の編成予定であり、今回第 1 ならびに第 2 章を提出した。残りについても鋭意進める予定である旨報告があった。
- ④ 米澤高等工業学校初代校長大竹多氣について
 - 1). 小関委員から資料 55-4 に基づき百年史の特別論文 1 にあたる「米澤高等工業学校初代校長大

竹多氣について」説明があった。

⑤ 校閲に関して

- 1). 小室編纂室員から資料 55-5 に基づき説明があった。百年史は後世に正確な情報を伝えるという性質上、査読者には項目 4、5、6 について特段の注意を払って査読して頂きたい旨要請がなされた。

⑥ 通史「第 10 章 入試過誤」について

- 1). 奥山委員から、通史「第 10 章 入試過誤」の後半部分について東山教員から提出された旨、報告があった。

2. 記念物検討班

① バーチャルミュージアム(大竹多氣ホームページ)

- 1). 神戸委員から資料 55-6 に基づき説明があった。

- ・ 大竹多氣展で使用した資料について広報係が中心となって仮のバーチャルミュージアムサイトを構築した。展示会で使用したパネル(pdf データ)と資料の写真を収納している。現在はパネルと資料が独立した構造となっているが、今後、パネルと資料間でリンクを構築したい旨、説明があった。
- ・ 各委員で仮サイトを閲覧し、気づいた点を神戸記念物検討班長に報告して頂きたい旨、要請がなされた。

- 2). 三角委員から著作権と今後の運用について説明があった。

- ・ 現在は著作権について正規の処理をしていない。広報と三角委員の間で議論すべきであるとする。
- ・ 引用元や出典について徹底的に記述すべきであるとする。
- ・ 引用文献や書誌情報を明確にして欲しい旨、要望が出された。
- ・ 保守管理の立場から今後修正が入ることを想定し、pdf では無くイラストレータのデータを広報係に渡していただきたい。また、パネル内容の修正を当方で行なうことができるよう、執筆をされた小関委員には著作権を大学に譲渡することをお願いしたい。
- ・ 来年 4 月以後、本部会が解散した後の運用・管理体制が不明であることが問題と考える。

- 3). 小関委員から多氣展以後も古文書等新しい資料が発見・提供され、新たな展開があった旨報告があった。

- 4). 神戸委員から 12 月中に記念物検討班の答申をまとめる旨、報告があった。

III) その他

1. 大竹俊樹先生原稿の取り扱いについて

- ① 大竹俊樹先生の記念式典における講演の内容を文章としてまとめていただいた。その活用について、米澤工業会誌に掲載することを考えたが、工業会誌の掲載は早くても来年 6 月以後になる。そこで百年史に収納できないかを検討して欲しい旨、横山部会長から提案がなされた。

2. 百年史の査読の時期と方法について

- ① 小池委員から百年史の査読の時期と方法について質問がなされた。特に査読を PC 上で行なう方法について提案がなされた。横山部会長、ヒストリー班、小室編纂室員で検討し、12 月初旬を目指して、委員に知らせることとした。

3. 次回の部会について

次回の会議は 12 月 21 日 (火) 16 時から開催の予定。